

今後の各WGの進め方について（案）

- 「経済財政運営と改革の基本方針2020」（令和2年7月17日閣議決定）に基づき、年末までに改革工程表を改定する。
- 各WGは以下のポイントを踏まえ、改定に向けた検討を進める。

《 検討のポイント 》

1. 昨年末に取りまとめた改革工程表2019に盛り込まれた各施策の進捗管理を行う。その際、改革の進捗がKPI及び政策目標にどのように反映されているか、より適切なKPIはないか、という観点から検討を進める。（新型コロナウイルス感染症の影響にも留意する。）
2. 骨太方針2020における経済・財政一体改革に資すると考えられる施策については、KPIを設定し、改革工程表に盛り込む。
3. 各省からロジックモデルの進捗を含めてヒアリングを行い、改革工程表の改定に結び付ける。その際、EBPMアドバイザリーボードの各委員の参画を得て、その知見を活かす。また、改革工程表案の検討に当たっては、政府の各会議の間における整合性・一体性に留意し、重複を排除する。経済財政諮問会議で民間議員より提示された「経済・財政一体改革における主な課題」（別紙）を踏まえ、状況に応じかつ機動的に検討を行う。

《 今後のスケジュール（案） 》

10月中旬～11月中旬 各WG

○各省庁からのヒアリング（1～3回）

12月上旬 経済・財政一体改革推進委員会

○工程表改定原案提示

11月末～12月上旬 各WG

○工程表WG改定案とりまとめ

12月中旬 経済・財政一体改革推進委員会

○工程表改定案とりまとめ

12月下旬 経済財政諮問会議

○新改革工程表とりまとめ

経済・財政一体改革における主な課題

別紙(令和2年第14回経済財政諮問会議資料)

分野	主な課題	対応の方向性
社会 保障	一人当たり医療費の地域差半減	<ul style="list-style-type: none"> 感染症にも対応可能な病床の弾力的活用と地域医療構想の実現 診療報酬の包括化・簡素化 データ活用（供給側データ等）と医療サービスの標準化 保険者機能の一層の強化（国保の法定外繰入の解消、都道府県内保険料水準の統一）
	一人当たり介護費の地域差縮減	<ul style="list-style-type: none"> データの徹底活用とアウトカムによる評価の加速 保険者機能の一層の強化（介護予防の推進、更なる見える化等）
	介護分野の生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> ICT、ロボット、AI等の新技術の実装加速 小規模・零細・低生産性の社会福祉法人等の大規模化促進
	予防・健康づくりの産業化	<ul style="list-style-type: none"> 健診データ等の活用とデータヘルスへの民間参入の促進
地方行 財政	地方行政サービスの広域化	<ul style="list-style-type: none"> 水道・下水道など公営企業を含む広域化の徹底 垂直的な業務補完による効率化（県と市で重複する業務の見直し、相互補完）
	地方行政サービスのデジタル化、業務改革の遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 国・地方を通じたデジタル化の徹底 国が整備する標準仕様の下で自治体が独自性発揮するシステムへの転換
社会資 本整備 等	インフラ老朽化	<ul style="list-style-type: none"> 道路や橋梁など、管理者（国・都道府県・市町村）により異なる老朽化の対応を抜本的に見直し
	インフラの在り方を含むデジタル時代の国土ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> インフラの在り方を含めた中長期の国土ビジョンの策定、民間資金も活用した財源確保
	スマートシティの遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 保有者・管理者を超えたインフラデータの一元化、データの民間活用を促進、モデル事業から実装重視に転換
文教・ 科技	デジタル時代の学びの見直し	<ul style="list-style-type: none"> オンラインを前提とした教育体系の抜本的見直し（GIGAスクール等による個別最適化、教務・校務の効率化等）
	官民研究開発投資の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 多年度での研究開発投資への安定的支援とEBPM推進 大学改革と産学連携の促進 STEAM人材の育成に向けた具体的な計画の策定
	大学改革	<ul style="list-style-type: none"> 大学設置基準の見直し、オンライン等を活用した大学の独自性の創出、大学再編の促進